

IR説明会

2017年3月期 第2四半期決算

株式会社 極 洋 (証券コード: 1301)

<http://www.kyokuyo.co.jp>

食卓に、海のおいしさとおどろきを。



<http://www.seamarche.jp>

目次

2017年3月期上半期の概況

- | | |
|--------------|------|
| 1. 当社を取りまく環境 | 3ページ |
| 2. トピックス | 4ページ |
| 3. 当社グループの状況 | 5ページ |

2017年3月期第2四半期決算の概要

- | | |
|----------------|----------|
| 1. 計算書類 | 7～12ページ |
| 2. 事業セグメント別の状況 | 13～18ページ |

2017年3月期 下半期施策及び業績予想

- | | |
|-------------------|----------|
| 1. 事業セグメント別の施策 | 20～21ページ |
| 2. 業績予想 | 22～24ページ |
| 3. コーポレートガバナンスコード | 25～26ページ |
| 4. 設備投資計画 | 27ページ |

2017年3月期 上半期の概況

当社を取りまく環境

経済・社会情勢

- 雇用や所得環境の改善が進む
- 企業収益や個人消費の低迷
- 不安定な為替変動

水産・食品業界

- 食の安心・安全に対する関心の高まり
- 少子高齢化による国内マーケットの変化
- 人手不足による労働コストの増加
- 世界的な水産物需要の増大による買付コストの上昇



トピックス



□ 株式併合と単元株式数の変更を発表 【5月】

全国証券取引所による「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨を尊重し、当社の単元株式数を1,000株から100株に変更すると同時に10株を1株に併合することを発表

- 効力発生日 : 平成28年10月1日

□ 新しい経営体制がスタート 【6月】

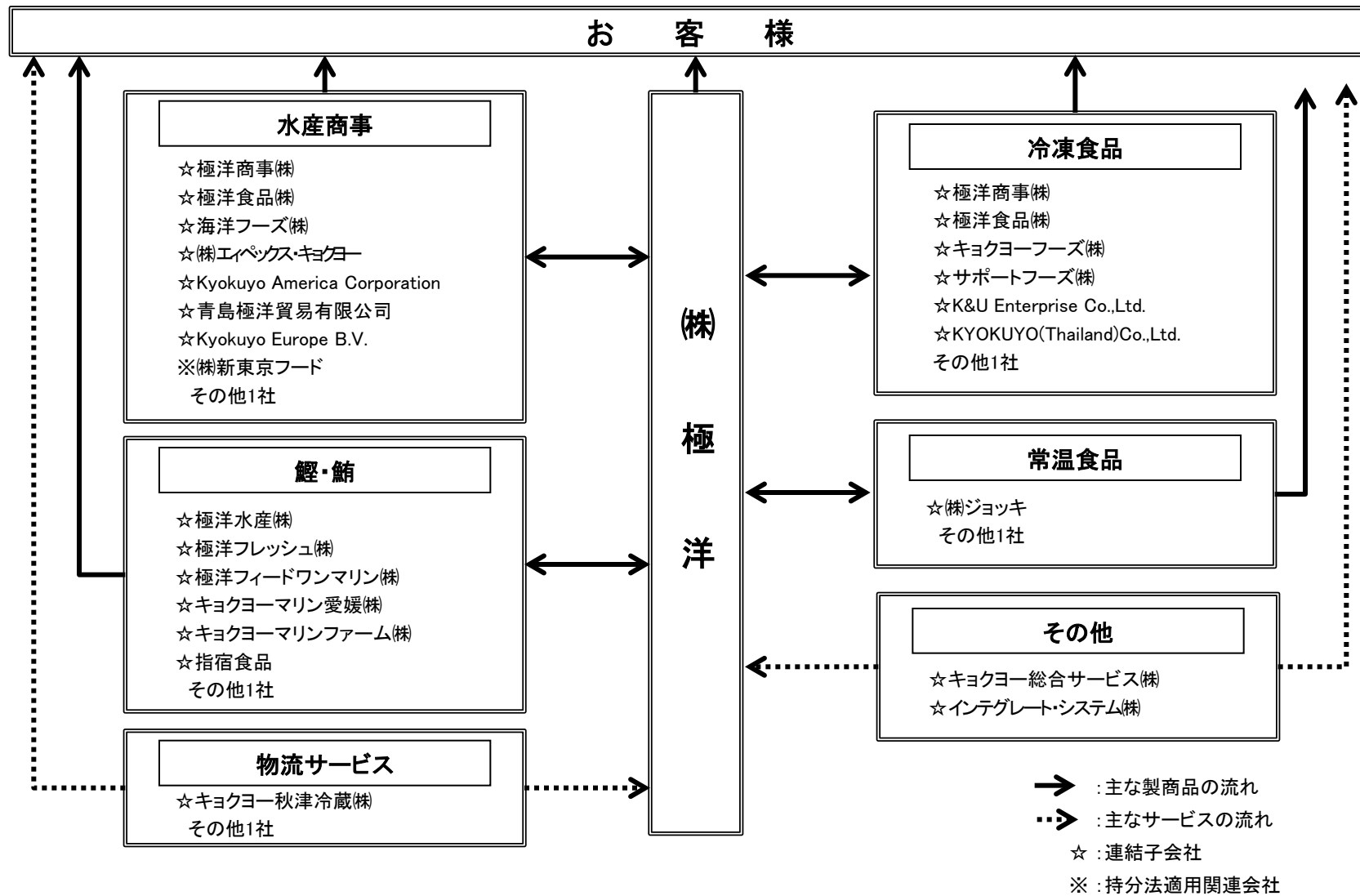
多田久樹会長、今井賢司社長による新体制が発足

□ 冷蔵運搬船事業を整理 【9月】

海運市況の悪化などから事業の見直しを進めた結果、冷蔵運搬船事業を整理することとし、保有冷蔵運搬船3隻の全てを売却



当社グループの状況



2017年3月期 第2四半期決算の概要



計算書類



1. 連結損益計算書

(単位:百万円)

	実績		前年同期比		当初予想	当初予想比	
	第2四半期連結累計期間		(増減金額)	(増減比率)	第2四半期 連結累計期間	(増減金額)	(増減比率)
	2016年3月期 (前期)	2017年3月期 (当期)			2017年3月期 (当期)		
売上高	108,499	109,570	1,070	1.0%	117,000	△7,429	△6.3%
営業利益	1,126	1,171	45	4.0%	1,400	△228	△16.3%
営業外収益	591	320	△271	—	—	—	—
営業外費用	310	486	176	—	—	—	—
経常利益	1,407	1,004	△402	△28.6%	1,300	△295	△22.7%
特別利益	1	608	607	—	—	—	—
特別損失	4	16	12	—	—	—	—
税金等調整前四半期純利益	1,404	1,597	193	—	—	—	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	911	1,186	275	30.3%	800	386	48.3%

- ・当初予想：2016年5月9日に発表した2017年3月期第2四半期業績予想数値
- ・売上高：水産商事と鰹・鮪が伸張し、前期比10億円の増収
- ・営業利益：水産商事と冷凍食品の収支改善などにより増益
- ・経常利益：貸倒引当金戻入益の減少と為替差損の増加により前期比4億円の減益
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益：所有船舶の売却益などにより前期比2億円の増益



計算書類



2. 個別損益計算書

(単位:百万円)

	実績		前期比		当初予想	当初予想比	
	第2四半期累計期間				第2四半期 累計期間		
	2016年3月期 (前期)	2017年3月期 (当期)	(増減金額)	(増減比率)	2017年3月期 (当期)	(増減金額)	(増減比率)
売上高	103,702	104,375	672	0.6%	111,000	△6,624	△6.0%
営業利益	988	1,225	236	23.9%	1,200	25	2.1%
経常利益	1,321	1,087	△233	△17.7%	1,200	△112	△9.4%
四半期純利益	916	921	5	0.6%	800	121	15.2%

- ・当初予想：2016年5月9日に発表した2017年3月期第2四半期業績予想数値
- ・売上高：水産商事と鰹・鮪が伸長し、前期比6億円の増収
- ・営業利益：水産商事と冷凍食品の収支改善などにより、前期比2億円の増益
- ・経常利益：貸倒引当金戻入益の減少と為替差損の発生などにより前期比2億円の減益
- ・四半期純利益：所有船舶の売却益などにより前期比で増益

3. 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2015年 9月末	2016年 9月末	前期比		2015年 9月末	2016年 9月末	前期比
資産の部				負債の部			
流動資産	82,762	82,275	△487	流動負債	55,196	52,734	△2,461
受取手形及び売掛金	29,249	30,302	1,053	固定負債	25,485	30,218	4,732
たな卸資産	45,123	44,566	△556	負債合計	80,682	82,953	2,271
その他	8,390	7,405	△984	純資産の部			
固定資産	21,445	24,278	2,833	株主資本	22,589	24,066	1,477
有形固定資産	13,544	16,887	3,343	その他の包括利益 累計額	554	△815	△1,370
無形固定資産	512	862	350	非支配株主持分	382	349	△33
投資その他の資産	7,389	6,528	△860	純資産合計	23,526	23,600	74
資産合計	104,208	106,554	2,345	負債及び純資産合計	104,208	106,554	2,345

4. 連結キャッシュ・フロー計算書

	第2四半期連結累計期間		
	2016年3月期(前期) (単位:百万円)	2017年3月期(当期) (単位:百万円)	当期第2四半期 (連結累計期間)の主な内訳
営業活動による キャッシュ・フロー	△8,983	△8,171	税金等調整前四半期純利益 +15億円 減価償却費 +9億円 売上債権の増加 △59億円 たな卸資産の増加 △77億円 仕入債務の増加 +28億円
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,776	△43	固定資産の取得 △15億円 固定資産の売却 +12億円
財務活動による キャッシュ・フロー	10,552	8,244	短期借入金の純増 +93億円 配当金の支払 △5億円
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△24	△115	
現金及び現金同等物の 増減額	△232	△86	
現金及び現金同等物の 期末残高	3,838	3,944	



計算書類



5. 連結経営指標

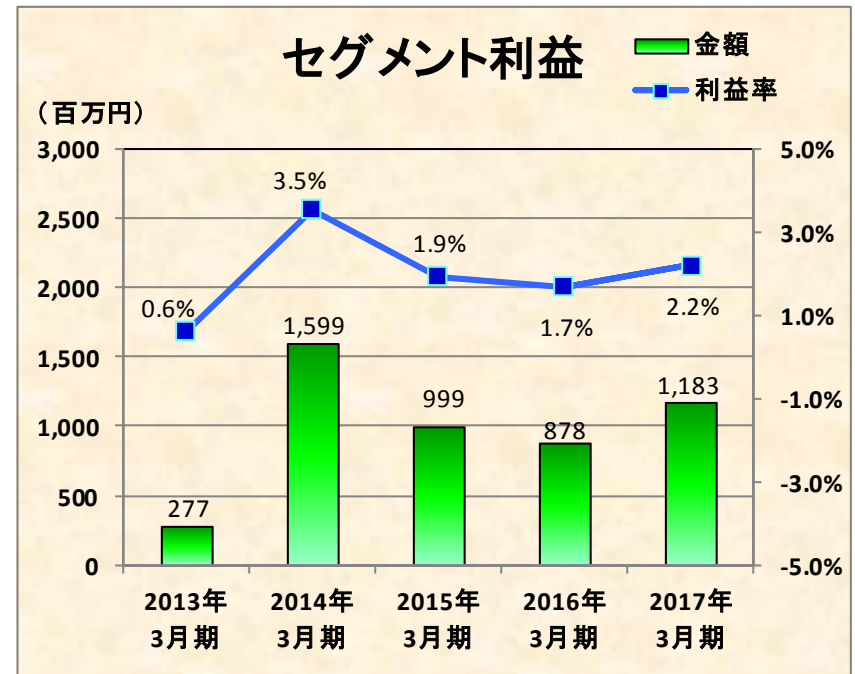
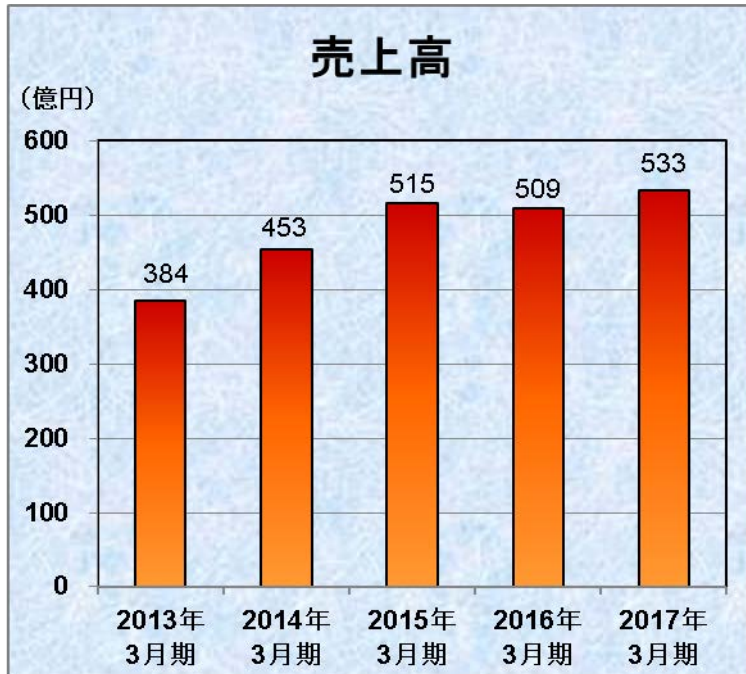
	2015年9月末	2016年9月末	前期比
純資産	23,526百万円	23,600百万円	+74百万円
自己資本比率	22.2%	21.8%	△0.4ポイント
商製品在庫金額	34,125百万円	34,598百万円	473百万円
在庫回転日数	57.4日	57.6日	+0.2日
有利子負債	585億円	592億円	+7億円
負債資本倍率(D/Eレシオ)	2.6倍	2.5倍	△0.1ポイント
自己資本利益率(ROE)	4.0%	5.2%	+1.2ポイント
総資産経常利益率(ROA)	1.5%	1.0%	△0.5ポイント
売上高営業利益率	1.0%	1.1%	+0.1ポイント
1株当たり純資産	2,203円48銭	2,213円77銭	+10円29銭
1株当たり四半期純利益	86円74銭	112円99銭	+26円25銭

6. 事業セグメント別 売上高及びセグメント利益<連結>

(単位:百万円)

	売上高			セグメント利益		
	第2四半期連結累計期間		前期比	第2四半期連結累計期間		前期比
	2016年3月期(前期)	2017年3月期(当期)		2016年3月期(前期)	2017年3月期(当期)	
水産商事	50,947	53,377	2,429	878	1,183	305
冷凍食品	33,616	32,364	△1,252	△50	165	215
常温食品	9,207	9,216	8	207	195	△12
物流サービス	1,546	1,113	△432	148	16	△132
鯉・鮪	12,961	13,317	355	234	100	△134
その他	219	182	△37	△293	△490	△197
合計	108,499	109,570	1,070	1,126	1,171	45

(1) 水産商事事業<連結>…水産物の買付及び販売



【当期の状況】

- 増収増益** 鮭鱒の市況が堅調に推移したことで収益が回復
 凍魚加工品や定塩サケ製品、むきエビなど付加価値製品の販売が伸長
 アメリカ国内販売が順調に推移



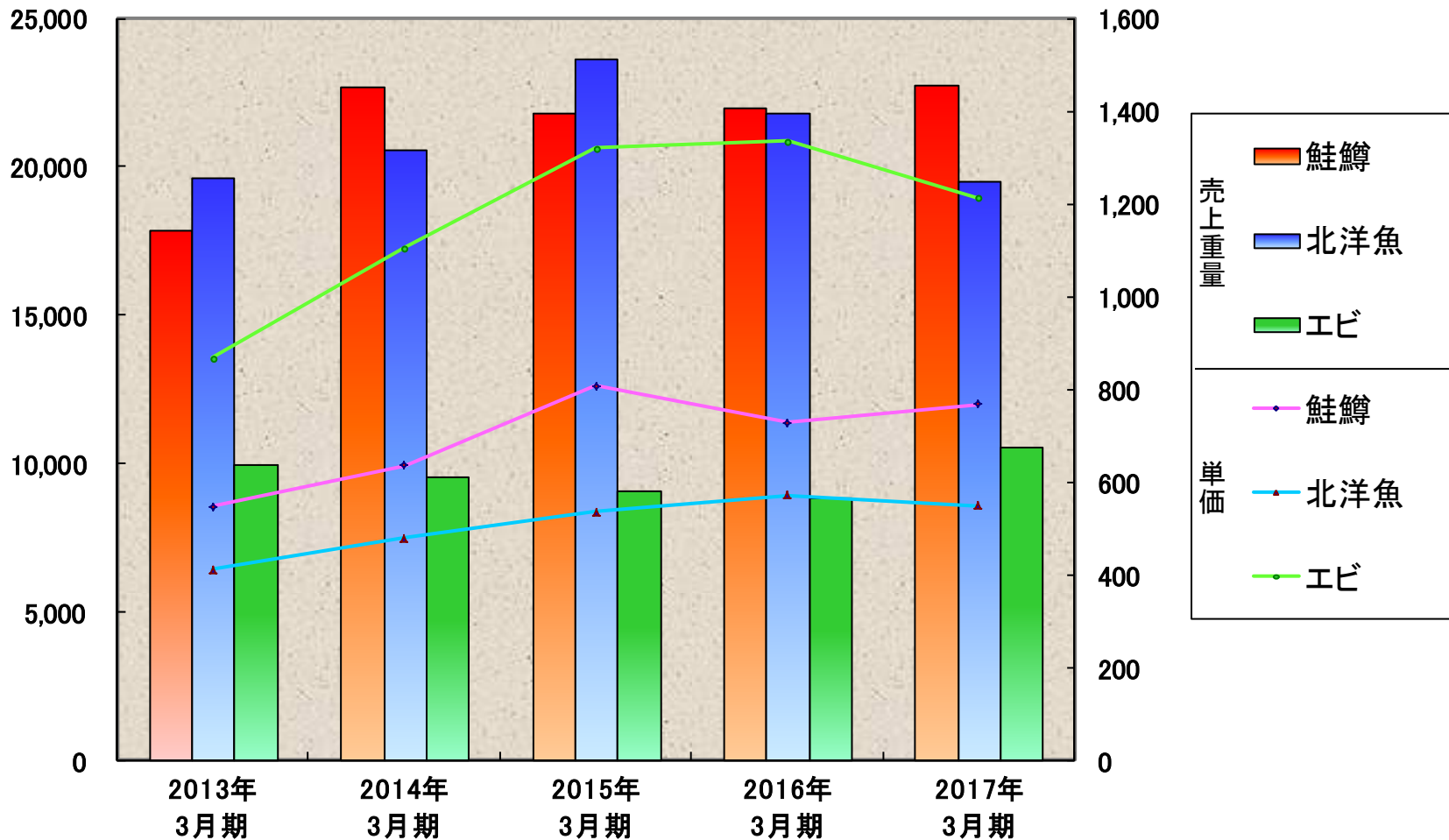
事業セグメント別の状況



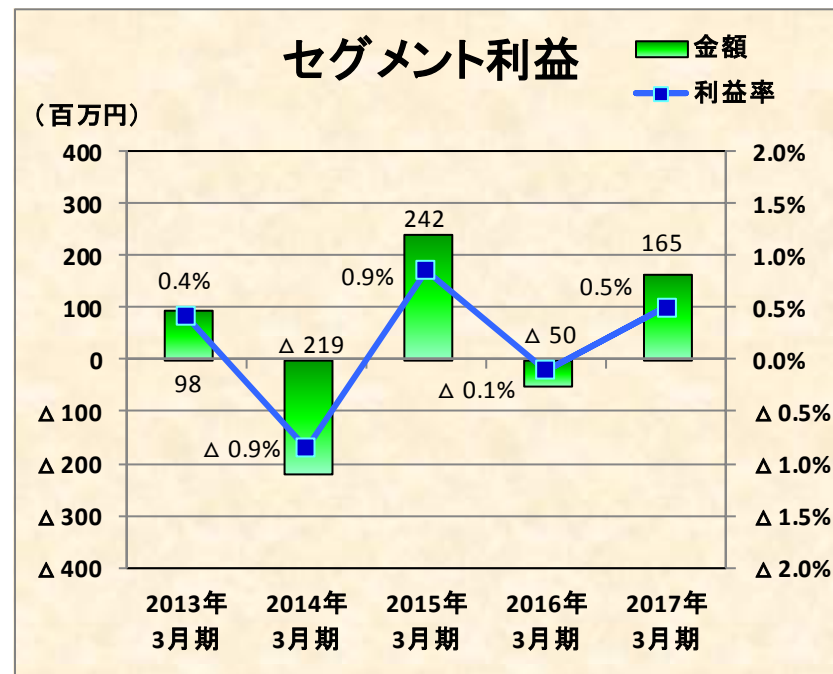
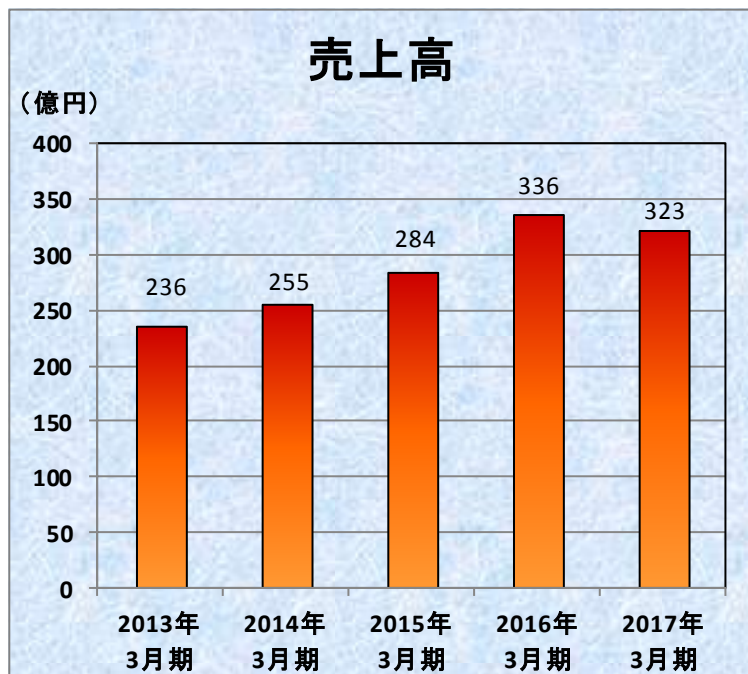
水産商事事業<個別>…魚種別売上重量・単価推移

(単位:トン)

(単位:円/kg)



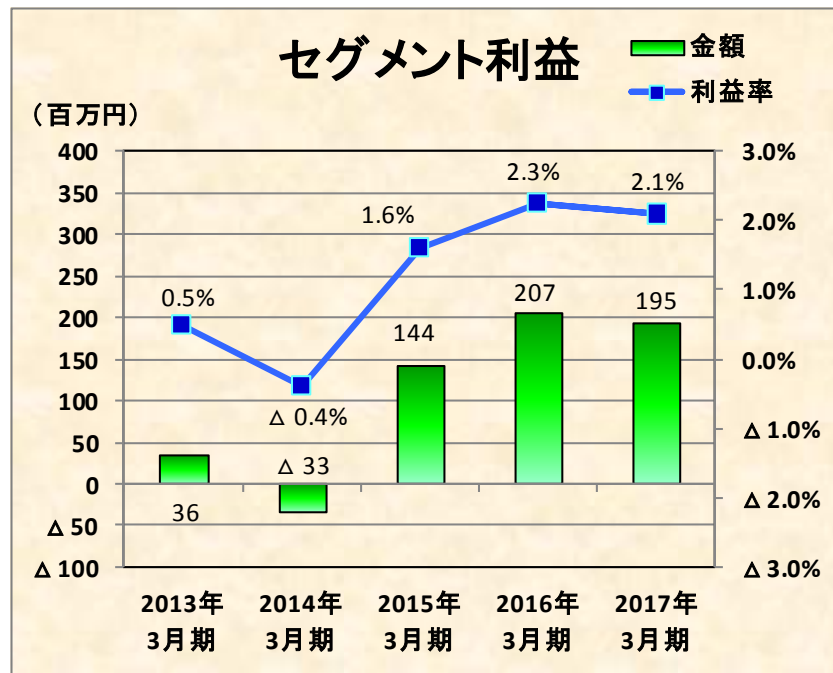
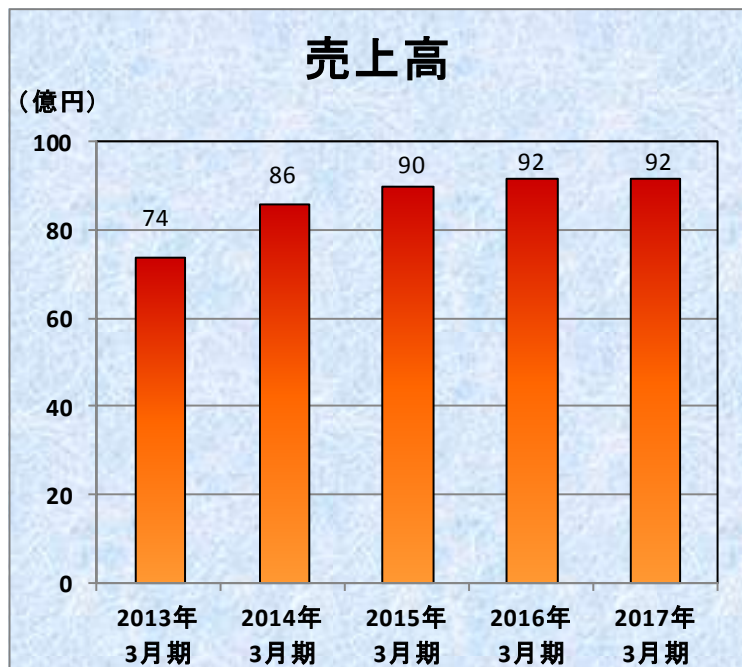
(2) 冷凍食品事業<連結>…冷凍食品の加工及び販売



【当期の状況】

- 減収増益** 寿司生食用商材及び「だんどり上手」シリーズなどの加熱用商品を拡販
 家庭用冷凍食品は商品群を増やし塩釜新工場製品の販売が伸長
 海外生産部門の収支が改善

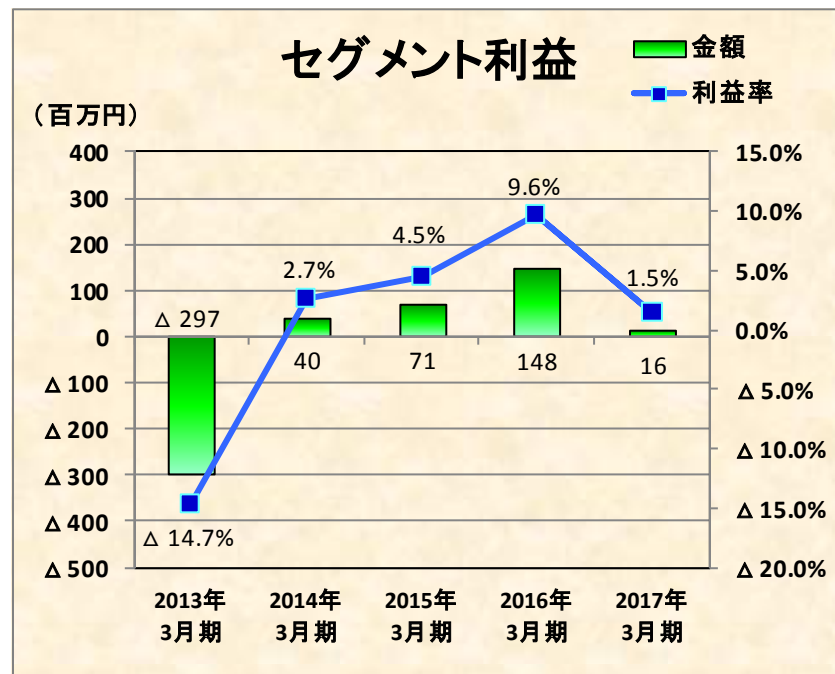
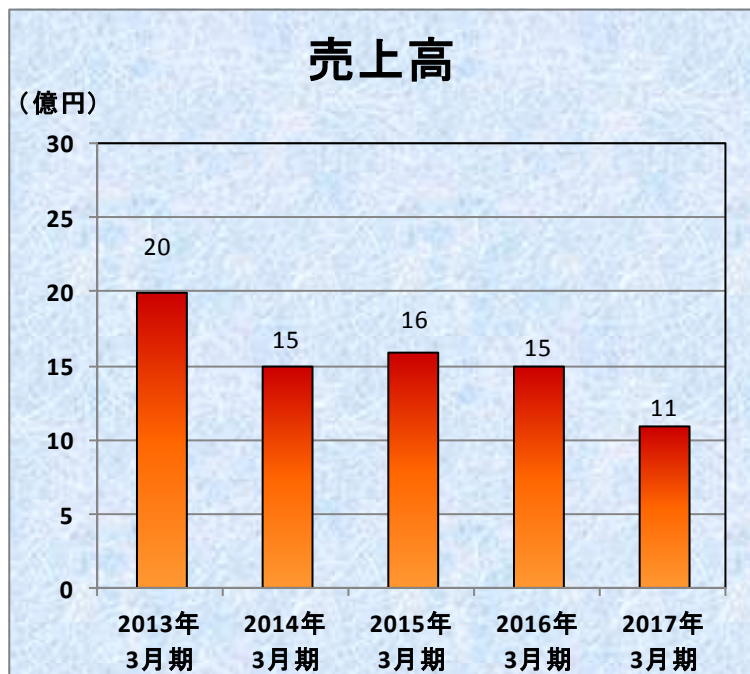
(3) 常温食品事業<連結>…缶詰・珍味製品他の加工及び販売



【当期の状況】

- 増収減益 サバやイワシなどの水産缶詰を拡販
珍味製品は大手コンビニ向け製品を中心に順調に推移
珍味原料のイカの価格高騰により利益を圧迫

(4) 物流サービス事業<連結>…冷蔵倉庫事業・冷蔵運搬船事業



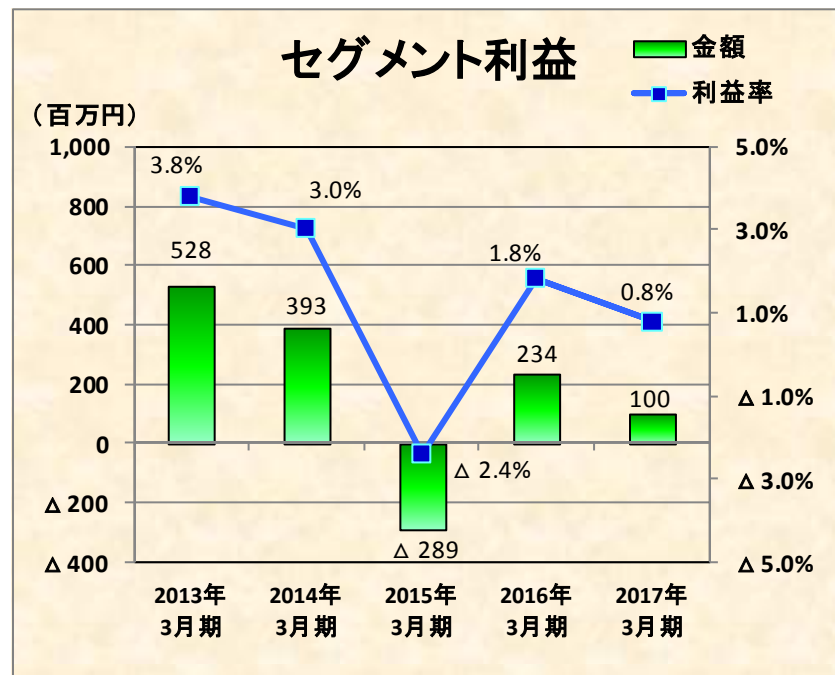
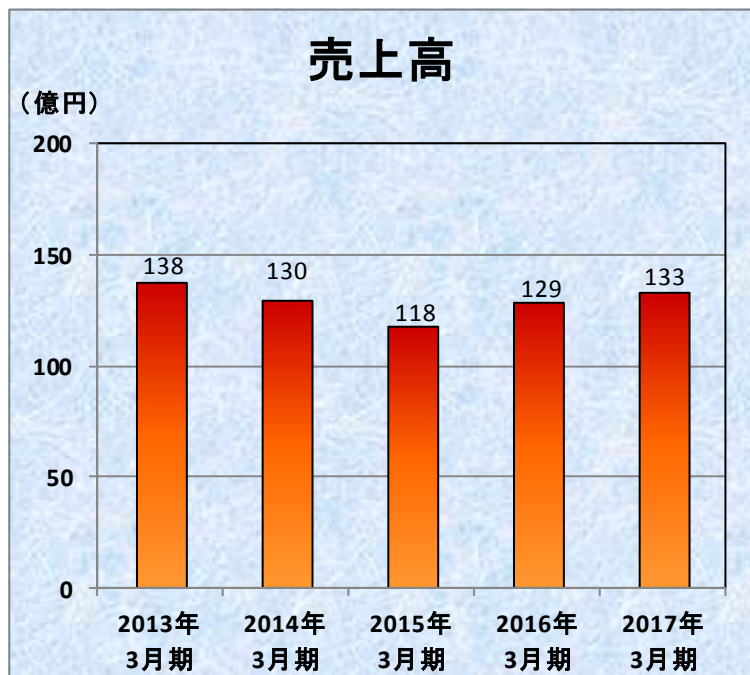
【当期の状況】

□減収減益

《冷蔵倉庫事業》 入庫貨物の確保を図り営業力を強化

《冷蔵運搬船事業》 海運市況の低迷により事業の見直しを進め所有船舶の全てを売却

(5) 鰹・鮪事業<連結>…海外まき網事業・養殖事業・鰹鮪加工販売事業



【当期の状況】 □増収減益

《海外まき網事業》付加価値製品を増産

	前期	当期	前期比
水揚げ重量(千トン)	17	17	±0
水揚げ金額(億円)	30	32	+2
単価(円/kg)	180	191	+11

《養殖事業》

天然種苗の集魚体制が安定
養殖技術の蓄積に注力

《加工販売事業》

本鮪やミナミ鮪を外食や
量販店に拡販

2017年3月期 下半期施策及び業績予想



事業セグメント別の施策



1. 事業セグメント別の下半期施策

【水産商事セグメント】

- 市場の動向を注視した取り組みの徹底
- 加工品の拡大による収益の確保
- 日本産品の輸出拡大による海外マーケットのルート開拓

売上高:1,210億円(前期比109%)

セグメント利益:2,380百万円(前期比132%)

【冷凍食品セグメント】

- 塩釜新工場の生産体制の充実
- 在庫管理徹底による回転率向上と経費削減
- 家庭用冷凍食品の拡販
- 国内外直系工場の効率稼働

売上高:745億円(前期比107%)

セグメント利益:490百万円(前期比295%)



事業セグメント別の施策



【常温食品セグメント】

- 市場ニーズに沿った缶詰商品の開発
- ECサイトなど販売チャネルの多様化
- 珍味加工品の原料確保と価格修正及び商品開発

売上高:190億円(前期比106%) セグメント利益:460百万円(前期比118%)

【鰹・鮪セグメント】

- 脂物製品の取り扱い増
- 加工拠点の効率的稼働と収益力アップ
- 「本鮪の極」ブランドの養殖魚の効果的出荷

売上高:280億円(前期比113%) セグメント利益:780百万円(前期比220%)

【物流サービスセグメント】

- 冷蔵倉庫事業の集荷貨物の安定的な確保と事業の効率化

売上高:15億円(前期比51%) セグメント利益:110百万円(前期比51%)



業績予想



2. 連結業績予想

(単位:百万円)

		売上高	営業利益	(営業利益率)	経常利益	(経常利益率)	親会社株主に 帰属する 当期(四半期) 純利益	1株当たり 当期(四半期) 純利益(円)
上半期	当期実績	109,570	1,171	1.1%	1,004	0.9%	1,186	112.99
	前期実績	108,499	1,126	1.0%	1,407	1.3%	911	86.74
	(前年同期比)	1,070	45	0.0%	△402	△0.4%	275	26.25
	当初予想	117,000	1,400	1.2%	1,300	1.1%	800	76.17
	(当初予想比)	△7,430	△229	△0.1%	△296	△0.2%	386	36.82
下半期	当期予想	134,430	2,329	1.7%	2,296	1.7%	914	86.95
	前期末実績	118,126	1,307	1.1%	1,407	1.2%	888	84.59
	(前期末比)	16,303	1,021	0.6%	888	0.5%	25	2.36
	当初予想	127,000	2,100	1.7%	2,000	1.6%	1,300	123.78
	(当初予想比)	7,430	229	0.0%	296	0.1%	△386	△36.83
通期	当期予想	244,000	3,500	1.4%	3,300	1.4%	2,100	199.94
	前期末実績	226,626	2,433	1.1%	2,814	1.2%	1,799	171.33
	(前期末比)	17,373	1,066	0.4%	485	0.1%	300	28.61
	当初予想	244,000	3,500	1.4%	3,300	1.4%	2,100	199.94
	(当初予想比)	—	—	—	—	—	—	—



業績予想



3. 個別業績予想

(単位:百万円)

		売上高	営業利益	(営業利益率)	経常利益	(経常利益率)	当期(四半期) 純利益	1株当たり 当期(四半期) 純利益(円)
上半期	当期実績	104,375	1,225	1.2%	1,087	1.0%	921	87.77
	前期実績	103,702	988	1.0%	1,321	1.3%	916	87.24
	(前年同期比)	672	236	0.2%	△233	△0.2%	5	0.53
	当初予想	111,000	1,200	1.1%	1,200	1.1%	800	76.17
	(当初予想比)	△6,625	25	0.1%	△113	△0.1%	121	11.60
下半期	当期予想	127,625	1,575	1.2%	1,613	1.3%	879	83.60
	前期末実績	112,648	1,223	1.1%	1,111	1.0%	342	32.63
	(前期末比)	14,976	351	0.1%	501	0.3%	536	50.97
	当初予想	121,000	1,600	1.3%	1,500	1.2%	1,000	95.21
	(当初予想比)	6,625	△25	△0.1%	113	0.1%	△121	△11.61
通期	当期予想	232,000	2,800	1.2%	2,700	1.2%	1,800	171.38
	前期末実績	216,350	2,211	1.0%	2,432	1.1%	1,259	119.87
	(前期末比)	15,649	588	0.2%	267	0.0%	540	51.50
	当初予想	232,000	2,800	1.2%	2,700	1.2%	1,800	171.38
	(当初予想比)	—	—	—	—	—	—	—



業績予想



4. 事業セグメント別業績予想<連結>

(単位:百万円)

	売上高							セグメント利益						
	上半期		下半期		通 期			上半期		下半期		通 期		
	当期 実績	前期 実績	業績 予想	前期 実績	業績 予想	前期 実績	当初 予想	当期 実績	前期 実績	業績 予想	前期 実績	業績 予想	前期 実績	当初 予想
水産商事	53,377	50,947	67,622	59,742	121,000	110,690	121,000	1,183	878	1,196	924	2,380	1,803	2,300
冷凍食品	32,364	33,616	42,135	36,092	74,500	69,709	75,000	165	△50	324	216	490	166	490
常温食品	9,216	9,207	9,783	8,752	19,000	17,959	19,000	195	207	264	183	460	391	460
物流 サービス	1,113	1,546	386	1,412	1,500	2,958	1,000	16	148	94	67	110	216	190
鯉・鮪	13,317	12,961	14,682	11,927	28,000	24,888	28,000	100	234	679	119	780	354	780
その他	182	219	△182	199	—	419	—	△490	△293	△229	△203	△720	△497	△720
合 計	109,570	108,499	134,430	118,126	244,000	226,626	244,000	1,171	1,126	2,329	1,307	3,500	2,433	3,500

エクспレイン項目

- 招集通知の英訳
 - 海外投資家比率 2.5%
- 役員インセンティブ報酬
 - 持続的成長に向けた報酬体系を検討
- 社外取締役の複数選任
 - 現在1名の社外取締役選任

その他の主な項目

- 政策保有株式
 - 取引相互の安定化による企業価値向上を目的とした保有
 - 取締役会における保有要否の検討
- 取締役会の実効性評価
 - 毎年1回評価アンケートによる取締役会での検討
- 関連当事者取引
 - 年度末における関連当事者取引調査の実施と監視
- 独立社外取締役の独立性基準
 - コーポレートガバナンスガイドラインに当社基準を開示



設備投資計画



	概要	通期合計
極 洋	塩釜工場関連	7億円
	その他生産工場関連	2億円
	研究所関連	1億円
	養殖事業海上	0億円
	IT関連その他	5億円
	計	15億円
関係会社	生産工場関連	14億円
	まき網事業関連	1億円
	養殖事業海上	1億円
	IT関連その他	2億円
	計	18億円
合計		33億円



本資料は、2016年9月末までの業績及び今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的として作成しており、必ずしも投資をお勧めするものではありません。

本資料に含まれる業績予想及び将来の予測は、現時点で入手される情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

したがって、実際の業績は、様々な要因により、これらの予想と異なることがありますのでご承知おきください。

当資料に対する問い合わせ窓口

株式会社 極 洋 企画部 電話03-5545-0703

本資料は株式会社極洋が作成したものであり、内容に関する一切の権利は当社に帰属します。複写及び無断転載はご遠慮ください。